

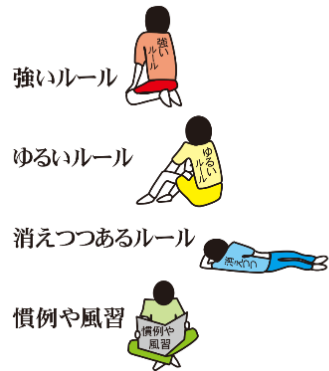
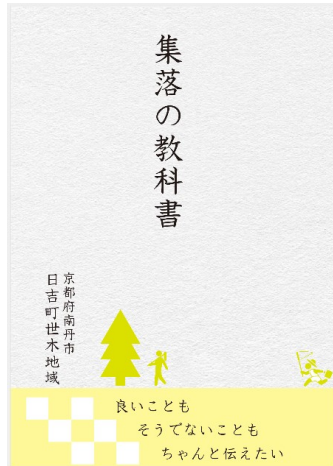
「集落の教科書」について

地域の良いことも、そうでないこともちゃんと伝えたい

【NPO法人テダス】

- 「集落の教科書」とは、区費の金額、役員の決め方、葬儀の慣習、草刈りや水路掃除などの共同作業、あいさつの仕方など、集落等によって異なる様々なルールをとりまとめた**地域の取り扱い説明書**です。
- 地域の生活では、皆が協力しながら地域を支えていくことが期待されます。二地域居住者や移住者が安心して生活するためには、**事前に地域のルールを学んでおくこと**がとても大切です。
- 一方、どんな慣習やルールがあるのかを伝えるためには、**自治体や自治会、地域住民が協力してルールを把握・整理**しておくことや、時にはルールを見つめ直すことが必要な場合もあります。
- 不在になることが多くなる二地域居住者の受け入れには、地域の理解や協力がより必要となります。**来られる方々のミスマッチを防ぎ、末永く暮らしていただくための大切なツール**として「集落の教科書」をご活用ください。

二地域居住者や移住者を増やすツールではなく、ミスマッチを防ぐためのツール



ルールには濃さがある
集落のルールと一口で言っても、
守ったほうがよいルールからゆるいルールまで、
色の濃さに違いがあります。
ルールをどの程度守った方がよいか、
その基準を示しますので、参考にしてください。

『集落の教科書』の作成は、集落によって異なる280項目の情報を調べ、住民の合意を得ながらまとめていきます。

- ・区費や組費
- ・農業を始める際の決まりごと
- ・引越後後の挨拶
- ・草刈りの共同作業
- ・冠婚葬祭の慣習
- ・消防団の活動 等

しきたりや決まり事の情報も、必ず守るべき「強いルール」から、「ゆるいルール」「消えつつあるルール」「慣例や風習」「改善に向けて考え中」の5つの基準をイラストとともに表現しています。

ミスマッチを防ぐには、地域のルールを学ぶ・伝える

自治体や自治会

事前に伝える

ルールを整理する

二地域居住者等

事前に学ぶ

地域を知って行動する

地域住民

ルールを確認

来られる方を理解する

地域についての様々なことは、決して良い話ばかりではありません。
この教科書を読んで田舎暮らしはやっぱり難しいと感じられる方も良いこともそうでないこともちゃんと伝え、安心して地域に住んでいただきたい。
ありのままの姿を見ていただいて、もし気に入っていただければ、私たちと共にこの地域で末永く暮らしましょう。